日刊人吉新聞
発行所
人吉新聞社
〒868-0072人吉市西間下町112-3
電話(0966)24-2111(代)
FAX(0966)24-2113(代)
(HP) www.hitoyoshi-sharepla.com
(✉) daihyou@hitoyoshi-press.com

読者のひろば

人吉海軍航空隊基地跡を巡る二つの問題

高谷　和生

人吉海軍航空隊基地跡の史跡整備を進めている錦町で、ギャンブル施設誘致と軍人コスプレ問題が起きました。

ボートレース場外舟券発売場設置の問題では、飛行場滑走路沿いの売場予定地と、町が1億円余をかけて整備を進める加茂神社周辺部とは「500㍍も離れており、全く問題はない」との意見もあると聞きます。しかし、ここは町がホームページで示す基地内エリアであり、中核である滑走路と関連する地下作戦司令室等の場所そのものです。

また、仮にここに当該施設を設置するのであれば、「旧岡本工業建物」を移設させ、平成30年度に開館を目指している「人吉海軍航空隊基地跡資料館（仮）」の町建設コンセプトと整合性がつかないのではないでしょうか。人吉海軍航空隊基地跡の歴史とエリア、各施設の軍事的性格、史跡整備の基本とされる「文化的景観を守る視点」からも、当地域に設置すべきではありません。

町主催観光モニターツアーでの軍服コスプレ問題では、同基地跡に残された巨大地下壕内で海軍軍人に扮し、参加者も「敬礼」し軍人コスプレを楽しんだという報道もなされています。

この企画は昨年11月、アイドルグループ「欅坂46」のコンサートで、ナチ軍服に酷似した衣装を着用し、「被害者の記憶をおとしめた」として、国内外から多くの批判が起こった事実を忘れ、太平洋戦争の反省への謙虚さを欠いた行為ではないでしょうか。

今回の軍服コスプレは、自衛隊駐屯地記念祭で制服を着用して記念写真を撮ったり、西南戦争見学ツアーで官軍軍服でガイド活動をする事柄等とは明らかに異質です。

町当局が公費で軍服を用意し、モニター参加者に着用を促し、「なりきり軍服」により、あたかも本遺跡がモニターする「秘密基地」の疑似体験のみに目を奪われ、本来の遺跡観として押さえるべき「先の大戦での加害・被害の歴史」を町当局が軽視したことによって起きた問題です。

（熊本県玉名市）